

コロナ禍での音楽科授業 1年

1年2組の音楽科の授業を参観しました。コロナ禍，感染リスクが高いとされている活動は控えている現状ですが，そのような中でもできることを工夫して取り組んでいました。まずは，音楽に合わせて身体を動かし，次に，タブレットの音楽アプリを使って「きらきらぼし」の演奏。そして，リズム遊びということで，ボディパーカッションをしました。特に，ボディパーカッションでは，「身体を楽器にして音を出そう」というめあてのもと，手拍子，足踏み，膝打ちを組み合わせながら，音を出して演奏しました。最後には，2つのリズムパターンに分かれ，「WAになっておどろう」の曲に合わせて表現することができました。子供達は，とても楽しそうに取り組み，振り返りでは，「前より上達した。」「またやりたい。」と意欲の高まりが見られました。

